



濾過促進活性炭

テリコール・テリコール#1000



テリコール

普通の活性炭

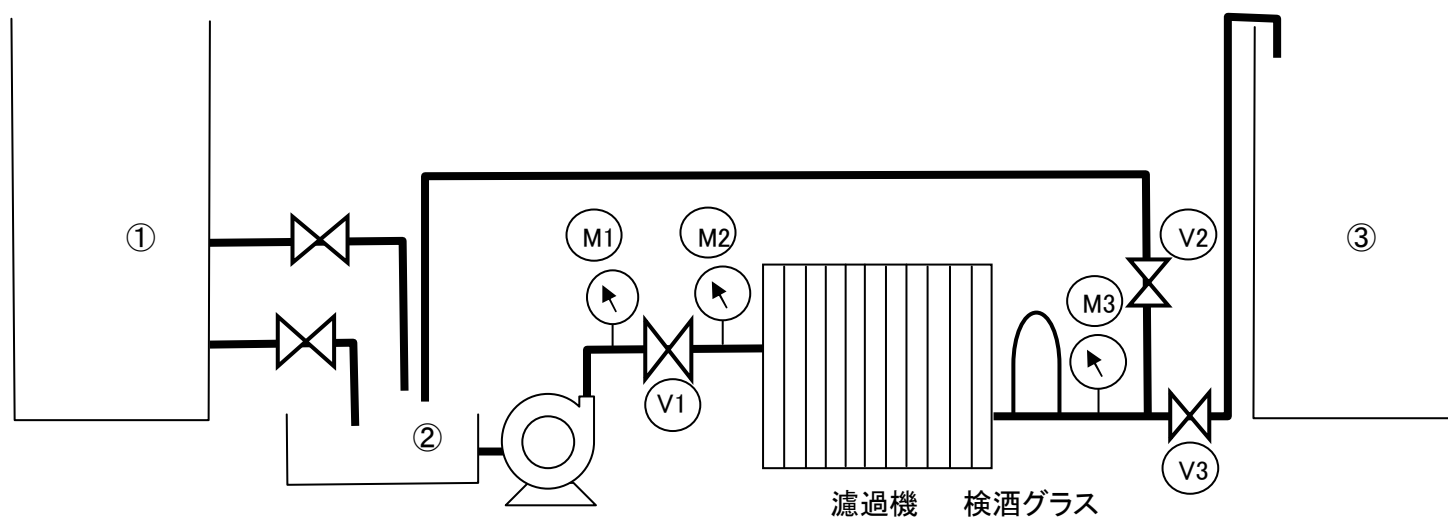
食品の安全性に対する世論が高まり、石綿を吸入することにより内臓器官などにガン発生のおそれがあるということが明らかにされ、使用について規制されております。

当社においてもこのような安全性に応え、鉱物性の濾過、濾過助剤などの使用を最小限にとどめるよう、純植物性にて、又、最高純度まで精洗された**濾過助剤活性炭「テリコール」「テリコール # 1000」**を開発しました。

【特長】

- ① 新しいタイプの濾過機において濾紙等の香りの吸着が大
- ② 粒度が従来の活性炭よりも荒
- ③ 濾過目詰まりの防止
- ④ 脱色力を除けば、醸造用活性炭規格に順応してあります

【使用法】



A例 濾紙濾過機 (濾過面積10m²)

ろ材	パルプセナイ・リンター等	2.0kg
	テリコール	1.0kg
	テリコール#1000	2.0~3.0kg

(方法) ①の酒を②の半切りに約2/3量とり、その酒5~10ℓにて、下記の4つのタメ桶に入れたろ材を良く溶解しておく。

(イ)、	パルプセナイ・リンター等	1.5kg
(ロ)、	パルプセナイ・リンター等	0.5kg
	テリコール	1.0kg
(ハ)、	テリコール#1000	1.0kg
(ニ)、	テリコール#1000	1.0~3.0kg

②の半切りに(イ)のタメのパルプセンイ・リンター等を入れ濾過機にかけ、②の半切りに戻るように循環する。

バルブ(V1)はメーター(M1)を見て(V1)を止めたときの圧力より、0.03MPa減した圧力に設定しておく。②の半切りがある程度きれいになれば(ロ)(ハ)の順に入れ濾過機へプリコートする。この時点で検酒管が透明になっているはずです。

ここで(M2) 0.02～0.05MPa (M3) が0.01 kg/c m²程度になっています。この循環のまま(M3)のメーターが0.03MPaになるよう(V2)を閉めていく。この時、(M2)が0.12MPaであれば(V1)はそのまま、それよりも高くならぬように(V1)を閉める。低ければ(V1)を開き(M2)が0.12MPaになるようセットする。

次に①の酒を②の半切りに入れながら(V3)を開き(V2)を止める。この時、(M3)の0.03MPaを保つよう徐々に行う。

(注)バルブの操作は徐々に行って下さい。

②の半切りに①のタンクより黒オリが出るようになれば黒オリの中に(二)のタメを少量ずつ混ぜ、(M2)の圧力が0.25MPa以内で、全部濾過できるように(V1)を調節する。

途中で(V3)を閉め半切りに循環する場合は(M3)を圧力が変わらないように(V2)を操作してください。

B例 濾紙濾過機 (濾過面積10m²)

ろ材	パルプセンイ・リンター等	2.0 kg
	ケイソー土(白)	1.0～3.0 kg
	ケイソー土(赤)	1.0 kg
	テリコール#1000	2.0 kg

タメ桶	イ、パルプセナイ ・ リンター等	1.5 k g
	ロ、パルプセナイ ・ リンター等	0.5 k g
	ケイソー土 (赤)	1.0 k g
	ハ、 テリコール#1000	2.0 k g
	ニ、ケイソー土 (白)	1.0~3.0 k g
操作	A例と同様です	

C例 濾布・濾紙濾過機 (濾過面積10m²)

ろ材	テリコール#1000	3.0~5.5kg
	脱色用炭素 (新鶴印など)	0.5 k g
タメ桶	イ、 テリコール#1000	0.5 k g
	ロ、 テリコール#1000	0.5 k g
	脱色用炭素	0.5 k g
	ハ、 テリコール#1000	1.0~1.5kg
	ニ、 テリコール#1000	1.0~3.0kg
操作	A例と同様です	



品川炭素株式会社

〒932-0312
 富山県砺波市庄川町高儀新315
 TEL 0763-82-0059 FAX 0763-82-6566
 E-mail : kurohatt@pl.tst.ne.jp
 URL <http://www.1.tst.ne.jp/kurohatt>